



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月2日

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2599 URL <https://www.japanfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 西田 健一 TEL 0475-35-2211
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,797	△10.2	347	△36.7	388	△32.8	287	△31.3
2022年3月期第1四半期	3,113	△23.5	549	20.5	577	37.3	417	49.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 352百万円 (△21.7%) 2022年3月期第1四半期 450百万円 (65.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	59.55	—
2022年3月期第1四半期	86.63	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,887	7,533	34.4
2022年3月期	22,178	7,291	32.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,533百万円 2022年3月期 7,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	10.00	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	14.2	1,300	79.5	1,400	69.2	1,000	60.7	207.34
通期	10,500	9.6	400	—	550	—	450	26.3	93.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	5,100,000株	2022年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	277,113株	2022年3月期	277,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,822,887株	2022年3月期1Q	4,822,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての内容等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積り変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う人流の回復等、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻に起因した原油価格等の上昇に伴うインフレ圧力の高まりや、日米金利差拡大に伴う急速な為替変動により、依然として経済の先行きが不透明な状況が続いております。

国内飲料業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う緩やかな人流の回復に加え、例年より早い梅雨明けが市場を押し上げたこともあり、業界全体の販売数量は、前年同期比4%増(飲料総研調べ)となりました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,797百万円(前年同期比10.2%減)、営業利益は347百万円(前年同期比36.7%減)、経常利益は持分法による投資利益の増加(当第1四半期連結会計期間56百万円)等により388百万円(前年同期比32.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は287百万円(前年同期比31.3%減)となりました。

当社グループでは、「ふ・け・か(防ぐ・削る・稼ぐ)」を更に進化させた「品質経営」を全社推進し、製品・サービスと業務プロセスの品質を高め、無形資産の最大活用に伴うあらゆる生産性の向上、新製品の積極受注や新たな販売領域の創出により、収益を最大化し、財務体質の改善に努めてまいります。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

(国内飲料受託製造事業)

国内飲料受託製造事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和と例年より早い梅雨明けによる飲料市場回復の兆しもあり、生産性の向上と積極的な受注活動に努めてまいりました。

しかしながら、国内飲料市場がコロナ禍前の水準に回復していないことや、ウクライナ危機に起因した原油価格等の上昇もあり、当第1四半期連結累計期間における受託製造数は11,069千ケース(前年同期比7.6%減)、セグメント利益は332百万円(前年同期比38.1%減)となりました。

(海外飲料受託製造事業)

海外飲料受託製造事業(中国、連結対象期間:2022年1月から3月期)につきましては、新ライン増設に伴うコスト増加がある一方で、事業が好調に推移したことにより、セグメント利益は48百万円(前年同期比38.9%増)となりました。

(その他の事業)

水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等につきましては、ボトルドウォーターの価格改定等により、セグメント利益は8百万円(前年同期比37.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、4,079百万円となり、前連結会計年度末に比べて66百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、電子記録債権が増加したことによるものであります。

固定資産は、17,808百万円となり、前連結会計年度末に比べて356百万円減少いたしました。これは主に、固定資産の減価償却によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、4,505百万円となり、前連結会計年度末に比べて208百万円減少いたしました。これは主に、買掛金、短期借入金が増加したものの、未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、9,848百万円となり、前連結会計年度末に比べて323百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,533百万円となり、前連結会計年度末に比べて241百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、2022年5月13日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは2021年3月期、及び2022年3月期の2期連続して経常損失等を計上し、取引金融機関と締結している一部の長期借入金契約に付された財務制限条項に抵触致しましたが、当該事由を以っては期限の利益喪失の権利行使をしないことについて各金融機関から承諾を得ております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,079,826	344,471
電子記録債権	699,530	1,500,146
売掛金	1,802,327	1,720,237
商品及び製品	56,570	152,022
原材料及び貯蔵品	157,715	190,157
その他	217,783	172,719
流動資産合計	4,013,754	4,079,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,710,516	15,724,460
減価償却累計額	△7,720,769	△7,852,039
建物及び構築物 (純額)	7,989,746	7,872,420
機械装置及び運搬具	30,062,717	30,067,597
減価償却累計額	△23,386,545	△23,689,718
機械装置及び運搬具 (純額)	6,676,171	6,377,878
工具、器具及び備品	990,491	978,472
減価償却累計額	△770,364	△775,696
工具、器具及び備品 (純額)	220,127	202,776
土地	484,898	484,898
リース資産	515,138	533,782
減価償却累計額	△105,265	△118,613
リース資産 (純額)	409,873	415,169
建設仮勘定	21,044	16,694
有形固定資産合計	15,801,861	15,369,837
無形固定資産	492,456	467,018
投資その他の資産	1,870,609	1,971,331
固定資産合計	18,164,928	17,808,187
資産合計	22,178,682	21,887,943

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	767,191	945,692
短期借入金	500,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,922,104	1,923,964
リース債務	74,132	77,103
未払金	1,111,929	664,693
未払法人税等	17,233	111,644
賞与引当金	—	22,591
その他	321,259	159,462
流動負債合計	4,713,851	4,505,152
固定負債		
長期借入金	8,710,274	8,388,033
リース債務	314,824	311,562
固定資産撤去費用引当金	396,000	396,000
退職給付に係る負債	99,009	99,366
資産除去債務	652,849	653,958
その他	9	46
固定負債合計	10,172,966	9,848,967
負債合計	14,886,818	14,354,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,281,438	6,458,159
自己株式	△264,624	△264,624
株主資本合計	6,918,014	7,094,734
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	382,432	451,512
退職給付に係る調整累計額	△8,582	△12,424
その他の包括利益累計額合計	373,849	439,087
純資産合計	7,291,864	7,533,822
負債純資産合計	22,178,682	21,887,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,113,961	2,797,812
売上原価	2,022,750	1,963,745
売上総利益	1,091,211	834,067
販売費及び一般管理費	541,908	486,399
営業利益	549,302	347,667
営業外収益		
受取利息	—	9
持分法による投資利益	36,255	56,585
補助金収入	13,880	—
その他	8,107	7,671
営業外収益合計	58,242	64,266
営業外費用		
支払利息	24,852	20,594
その他	5,578	3,325
営業外費用合計	30,431	23,920
経常利益	577,114	388,014
税金等調整前四半期純利益	577,114	388,014
法人税等	159,289	100,817
四半期純利益	417,825	287,196
親会社株主に帰属する四半期純利益	417,825	287,196

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	417,825	287,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,991	—
退職給付に係る調整額	2,052	△3,841
持分法適用会社に対する持分相当額	42,249	69,079
その他の包括利益合計	32,310	65,237
四半期包括利益	450,135	352,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,135	352,434

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当第1四半期連結累計期間において、総合スクラップ&ビルド計画の対象となる資産の使用状況等を見直した結果、当社グループが保有する一部の有形固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14,932千円増加しております。

(セグメント情報)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,080,714	—	3,080,714	33,247	3,113,961	—	3,113,961
外部顧客への売上高	3,080,714	—	3,080,714	33,247	3,113,961	—	3,113,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	1,248	1,251	△1,251	—
計	3,080,718	—	3,080,718	34,495	3,115,213	△1,251	3,113,961
セグメント利益	536,931	35,117	572,048	6,437	578,486	△1,371	577,114

- (注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。
 2. 「その他」の区分は、水宅配事業、水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。
 3. セグメント利益の調整額△1,371千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去等であります。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	2,765,268	—	2,765,268	32,543	2,797,812	—	2,797,812
外部顧客への売上高	2,765,268	—	2,765,268	32,543	2,797,812	—	2,797,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	5	383	389	△389	—
計	2,765,274	—	2,765,274	32,926	2,798,201	△389	2,797,812
セグメント利益	332,167	48,788	380,955	8,838	389,793	△1,779	388,014

- (注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。
 2. 「その他」の区分は、水宅配事業、水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。
 3. セグメント利益の調整額△1,779千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去等であります。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当第1四半期連結累計期間において、総合スクラップ&ビルド計画の対象となる資産の使用状況等を見直した結果、当社グループが保有する一部の有形固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「国内飲料受託製造」で14,932千円増加しております。